



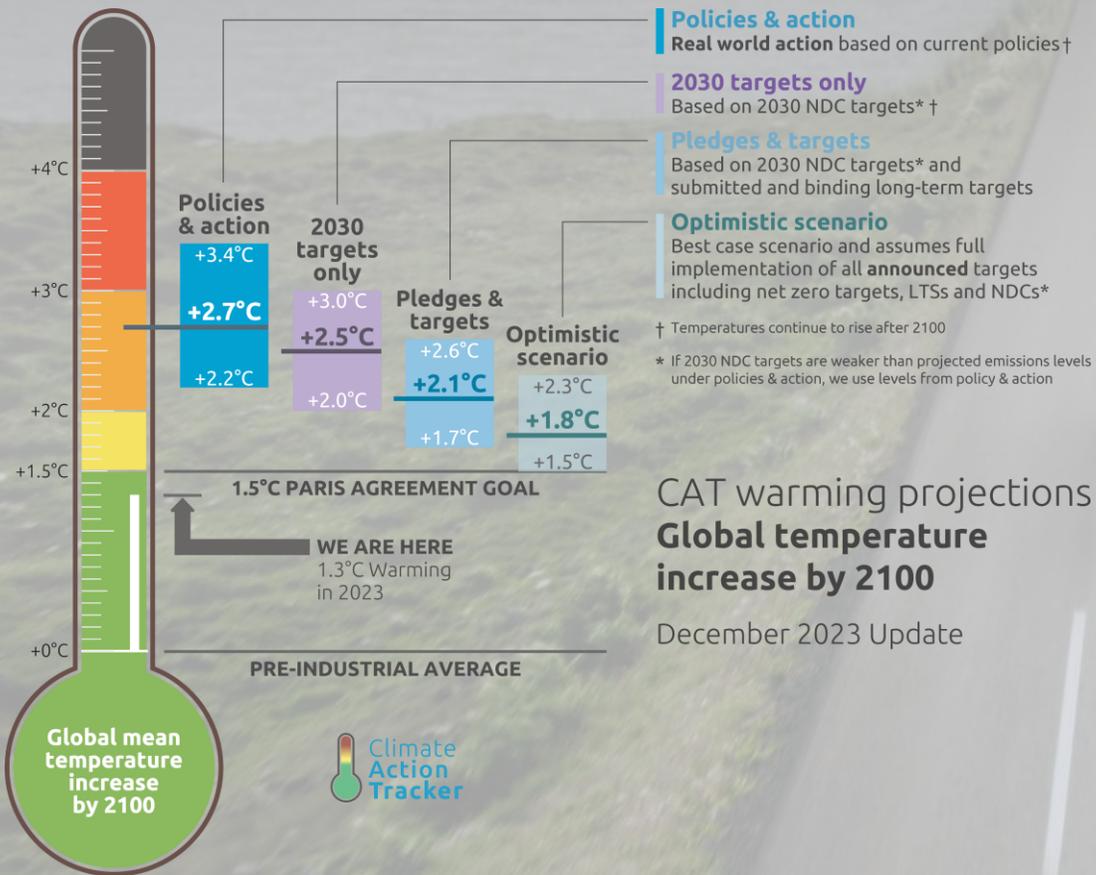
UDトラックスのカーボンニュートラル 2050

背景：UDトラックスのサステナビリティ・ゴール

- UDトラックスは「Better Life」戦略のもと持続可能な事業と社会を両立する輸送ソリューションのフロントランナーとしてグローバル単位でコミュニケーションを取りながらカーボンニュートラルを達成していくことを目標としています
- UDトラックスは、国連や関連当局が定める環境目標を遵守・調和することをめざしています
- これらの目標は、製品、サービス、業務を含むあらゆる面でカーボンニュートラルを達成しようとする私たちの意志のあらわれです



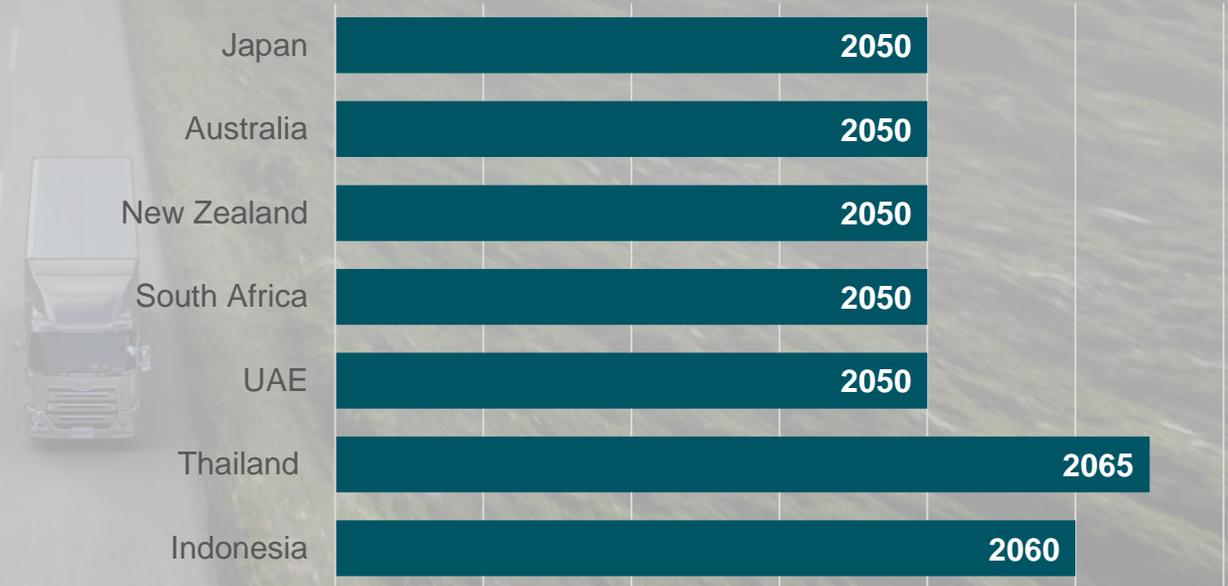
パリ協定・NDC遵守



CAT warming projections
Global temperature increase by 2100

December 2023 Update

UD Trucks 主要市場の2050年ネットゼロ目標



Source: <https://climateactiontracker.org/global/cat-thermometer/>

UDトラックスのサステナビリティ・ゴール:2050年までにカーボン・ニュートラルを実現

UDT Better Life戦略の一環として、UDトラックスは2050年までにカーボンニュートラルを達成することをめざします

100%
カーボン
ニュートラル

50%
カーボン
ニュートラル

2030

2050

UDTカーボンニュートラルリティの範囲

プライオリティ
2030

スコープ1
UDTが管理する事業からの直接排出

再生可能エネルギーの使用、生産プロセスの最適化、製造施設からの廃棄物および排出の削減。

スコープ2
間接エネルギー排出

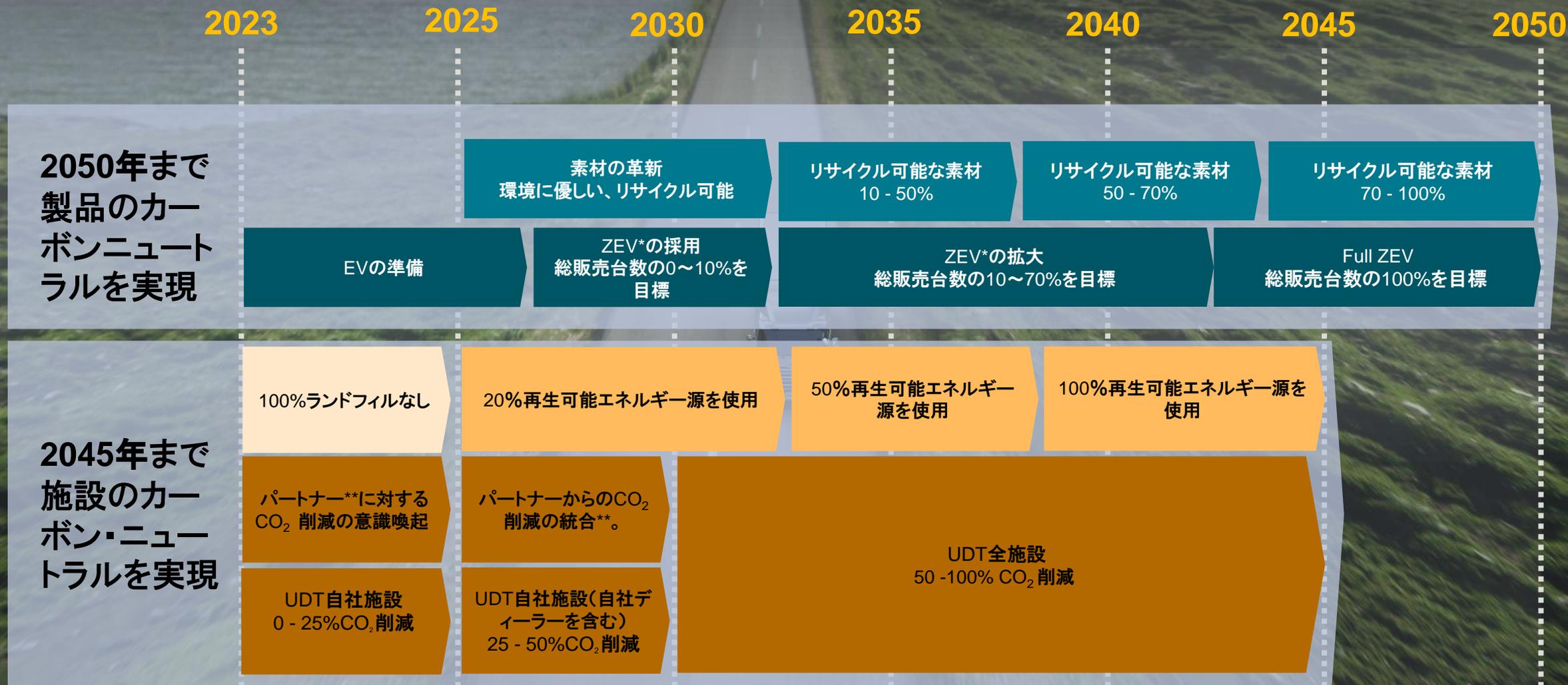
サプライヤーに影響を与えて、車両に使用される部品や材料の生産に伴う排出を削減する。

2030年以降の優
先事項

スコープ3
その他の間接排出
3a. 購入または取得した商品・サービスに関する間接排出
3b. 販売された商品・サービスに関する間接排出

購入した金属や部品の生産から生じる排出、サプライヤーから購入した製品の輸送(およびサプライヤー間の輸送)、販売したトラックの使用が含まれます。

施設、製品、サービス カーボン・ニュートラル・ロードマップ



* ZEVはxEVIに限らず、H2-ICE、代替燃料、その他の将来的な技術も含む。
 ** パートナーは、個人ディーラー、輸入業者、サプライヤー、製造工場以外も含む

2050年までの製品カーボンニュートラリティ

継続的な排出規制の遵守を保証する

環境基準を維持するために排出規制への厳格な取り組みを続ける



燃料効率の向上

自動変速機や13Lエンジンなどの新しい製品特徴を導入する

燃料効率を最適化するためにテレマティクス、ドライバーコーチングトレーニング、UDトラストなどの革新的なサービスを提供する



車両のリサイクル性を促進する

車両のリサイクル性を向上させるために、リマニュファクチャリングプログラムまたは部品交換イニシアチブを設立する



市場の試行と理解

ゼロエミッション車(ZEV)に対する市場のニーズを理解するための試験を実施し、将来の開発をそれに応じて調整する

ZEVヘビーデューティー(ZEV HD)開発

OHDPを通じてグループ内でゼロエミッション車ヘビーデューティー(ZEV HD)エンジンの開発をリードする



ZEVエコシステムの構築

市場におけるゼロエミッション車の導入を支援する包括的なエコシステムを開発する



* ZEVはxEVに限らず、H2-ICE、代替燃料、その他の将来的な技術も含む。

共通目標達成のための持続可能な調達

ステップ1 意識

調達評価

- 評価のためにSAQを利用する
- 環境持続可能性への取り組みを示すサプライヤーを優先する
- 再生可能資源またはリサイクル素材から作られた低炭素フットプリントの製品や材料を考慮する

意識

- サプライヤーと協力して持続可能な取り組みを促し、自身の炭素排出を削減するよう奨励する

ステップ2 統合

KPI設定

- カーボンニュートラルリティに関連する主要業績評価指標（KPI）を設定し、定期的に評価・改善する
- 環境基準および慣行を守っているか確認するため、定期的に監査を実施する
- カーボンオフセットの取り組みの機会を探る

統合

- サプライヤーとの契約や合意にカーボンニュートラルリティの要件を組み込む
- サプライヤーに環境持続可能な実践への遵守と具体的な炭素削減目標の設定を明確に求める

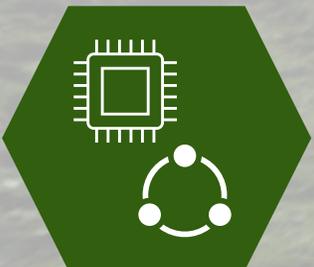


2050年に向けた運営



環境に配慮した工場へ

- エネルギー使用、廃棄物発生、排出など、現在の環境への影響を包括的に評価し、主要業績評価指標(KPI)を特定して進捗状況を測定・追跡する。
- エネルギー効率の高い技術と実践に投資する
- 認証を使用して、顧客およびステークホルダーに対する持続可能性への取り組みを示す
- 太陽光発電、風力発電、水力発電などの再生可能エネルギーへの移行



近代化と循環型経済

- 生産プロセスを最適化するために、インダストリー5.0などの先進技術を探求し、採用する
- リアルタイムの監視と制御のために、スマートセンサーとデータ分析を導入する。
- 製品やプロセスを再設計し、廃棄物を最小限に抑え、再利用やリサイクルを促進する



カーボンオフセット

- 避けられない排出を補償するためにカーボンオフセットプロジェクトに投資する
- 革新的な炭素除去技術を探求し支援する

UD施設の2050年カーボンニュートラルリティへの取り組み

カーボンフットプリント評価

施設やオフィスの現在の二酸化炭素排出量を評価する。エネルギー消費、輸送、廃棄物など、主な排出源を特定する。

オフセットと協力

- 削減できない排出量を補償するためにカーボンオフセットプログラムに投資する。
- 業界のイニシアティブやパートナーシップに参加し、ベストプラクティスと共同努力を共有する。



エネルギー効率の向上

- LED照明、スマートHVACシステム、エネルギー効率の高い家電製品など、エネルギー効率の高い技術を施設に導入する。
- 施設とオフィスのエネルギー供給源を再生可能エネルギーに移行する。太陽光パネルを設置するか、再生可能エネルギークレジットを購入して従来のエネルギー使用をオフセットする。



従業員エンゲージメント

- 使用しないときは照明や電子機器の電源を切るなど、省エネの習慣を取り入れるよう従業員に奨励する。
 - 公共交通機関の利用、相乗り、自転車、徒歩での通勤を奨励する。
- 従業員がアイデアを出し、グリーンイニシアティブに参加することを奨励して、持続可能な文化を育む。



ケース① UDTラックス・タイ - ソーラーパネル設置

- UDTラックス・タイは、Berkeley Energy Commercial Industrial Solutions (“BECIS”)と共同で、バンコク近郊のサムットプラカーンにある工場に1,850枚のソーラーパネルを設置しました
- ソーラーパネルの設置により、年間約15億Whの再生エネルギーが供給され、CO2排出量を約16%、年間700トン削減できる見込みでいます
- ソーラーパネルの発電量は、タイ工場で使用される電力の最大25%を供給する能力があります
- サムットプラカーン工場は今後、廃棄物のランドフィルゼロ、廃棄物の100%リサイクル、エネルギー消費削減に向けた取り組みを実施しています
- このソーラーパネル・プロジェクトは、UDTラックスの工場では初の試みであり、持続可能性への取り組みにおける重要なマイルストーンになっています



ケース② UDTラックス 南ア - ケープタウンのディーラー施設

- 2023年9月12日、UDトラックス・南アはケープタウンにて新しいフラッグシップ・ディーラーショップをオープンしました。この新しい施設は、最先端の車両整備設備はもちろん環境への継続的な取り組みの一環として、再生可能エネルギーによる節電、水のリサイクル、廃棄物管理という3つのポイントを考慮し設立されました
- 本フラッグシップ・ディーラーショップは屋根に設置されたソーラーパネルから月間約450万Whの電力を供給され、停電や悪天候に備え6個のリチウム電池がバックアップシステムとして備えています
- また水の管理も慎重に検討されており、雨水を容量60,000リットルのタンクに保管し運用し洗車などの作業で使われた水も90%がリサイクルされるような施設になっています。紙、プラスチック、段ボール、ガラスの廃棄物についても徹底的に管理し、90%以上のランドフィル削減を達成しています



ケース③ UDトラックス日本 - 上尾

- CO2排出量の削減、エネルギー消費量の削減、リサイクル率の向上に向け2025年までの目標を設定しています
- 照明のLED化、社有車の電動化、大規模なエネルギー・ロス削減対策などの取り組みを実施しています
- 上尾工場リサイクルステーションのリニューアルやリサイクル意識向上の取り組みにより、リサイクル率99%以上を達成しました
- アフターマーケット向けのリマニ部品の活用、部品再生の拡大への取り組みを実施しています

